

第13回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日時：令和2年2月21日（金） 14時00分～16時00分

場所：奈良春日野国際フォーラム 本館 会議室1

出席者：委員長 吉田 博宣

副委員長 山倉 拓夫

委員 佐野 純子、杉山 拓次、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳

オブザーバー 文化庁 田中調査官（欠席）、春日大社 館管理室長

奈良県ビジターズビューロー 中西専務理事

事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関係部局 《奈良県》景観・自然環境課、森林整備課、
森林技術センター、奈良公園事務所、
文化財保存課

《関係機関》林野庁奈良森林管理事務所、
奈良市都市計画課（欠席）、
奈良市文化財課（欠席）

報告 （1）春日山原始林保全再生事業の進捗状況について

議題 （1）後継樹苗木による修復植栽の検討について

（2）植生保護柵による保全面積の拡大の検討について

議事要旨

（1）後継樹苗木による修復植栽の検討について

- ・来年度の修復植栽の実施箇所は、事務局案の通りで了解した。ただし、委員の参加による現地確認を行い、植生保護柵内の実生・稚樹等の生育状況に応じて、実施箇所の変更を含めた柔軟な対応を検討すること。
- ・後継樹の育成に関して、子ども達が参加できる方法について、今後検討すること。
- ・修復植栽後のモニタリング項目に、先駆種・外来種の侵入状況、埋土種子の発芽状況を追加すること、

（2）植生保護柵による保全面積の拡大の検討について

- ・新規植生保護柵の設置箇所、設置方法等は、事務局案の通りで了解した。
- ・今後の植生保護柵の面積拡大に当たっては、近年の自然災害等による春日山原始林の自然環境の変化を踏まえた上で、検討を行うこと。

（3）その他

- ・春日山原始林での取組は、全体に大きな実験なので、その成果を広く県民に分かりやすく示すべきである。
- ・今後の調査に当たっては、最新技術（ドローン等）の活用も検討するべきである。